

私が実践している役に立つ情報です
室内で色を使った創作活動（絵やイラスト等）行う際の
室内の環境光照明（自然光に近い）について

1. 私の趣味の写真の編集仕上げ時に室内の照明を昼間の太陽光と同程度の色温度 5000° K にしてるので、室内で色を使った創作活動（絵、イラスト等）をされる方の環境光照明の方法に良いかなと思い紹介します
2. 最初に写真の編集仕上げの流れを説明します
全ての作業の照明は自然光に近い色温度 5000° K です

1) 写真編集時の作業場の様子です

理想の環境を考える

モニター画面と写真プリントの色を合わせるために、プリントを見る部屋の環境整備がとても重要です。常に同じ条件で評価できるように、次のポイントに気をつけて理想的な環境を整えましょう。



2) 次の流れでデジタルカメラの写真やスキャナでデジタル化したフィルム写真を編集仕上げモニターと同じ色合いでプリンターに印刷します

③写真レタッチ用として広帯域タイプのモニターを規定の正しい色と明るさに調整します (5000° K)

④レタッチソフトを設定してプリンターと同じ色で出力出来るようになります⑤テストプリント出力⑥出力の確認

3 モニターの調整 (キャリブレーション)

正しい色で確認できるように、あらかじめ写真プリントに適した表示に調整。



4 表示レタッチソフトの設定

写真データをコンピュータに取り込み、正しい設定で閲覧、プリントする写真を選択する。



5 プリンタの設定

正しい設定で、テストプリントする。



6 環境整備

テストプリントを適切な環境光で見る。



▶ 詳しくはP17～P20へ

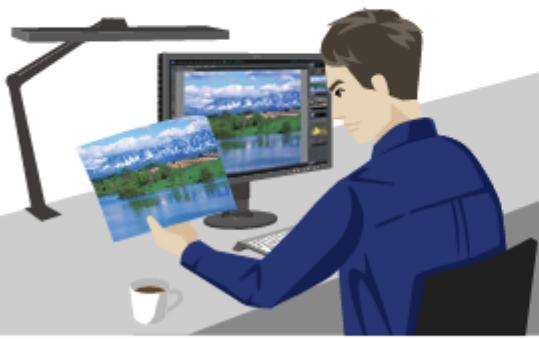
▶ 詳しくはP21～P22へ

3) テストプリントとモニター画面を比べて、色合わせを確認 必要に応じてモニターの微調整

7

写真プリントの確認

テストプリントとモニター画面を見比べて、色が合っているか確認。
必要に応じて、モニターの微調整。



▶ 詳しくはP23~P24へ

カラーマッチング完了!

画面の表示を信頼してレタッチ、プリント。
作品づくりを存分に楽しもう!



4

画面の表示を信頼してレタッチ、プリントして作品を仕上げる
3 ここでモニター画面とプリントの色合わせるために、自然光に
近い色温度 5000° K の照明器具が必要です。

4 私の室内の環境光照明の設定

モニターのメーカーより下記のデスクライトが推奨されてますが高価なので別の照明器具を使用しています

簡単に環境を整えられるデスクライト

望ましいのは部屋の備え付けの照明を変更することですが、それが難しい場合は、5000K、高演色光源のデスクライトを導入することで、手軽にプリントを見る環境を整えることができます。

Z-208PRO-5000K

色温度5000Kの高演色LEDスタンド



手持ちの電球式のデスクライトの電球を 5000° K に替えましたが、部分照明で不具合なので、部屋の照明を変更しました

5 室内照明器具の変更

少し前の Panasonic の LED シーリングライトに 5000° K モードがあるので別の部屋より移設しました

新たに購入する時は「パソコンくっきり光」(特許) モード (5000° K) のあるシーリングライトを設置します

少し高価です

参考までに Panasonic から販売されている台所や洗面所用照明は 5000° K です、調理やメイクは自然光で出来るようになります

6 結論

上記の事より、室内の人工照明下で色を使った創作活動（絵、イラスト等）をされる方は自然光に近い 5000° K の照明器具を使用されると良いと思い紹介しました

私が 5000° K の照明下で印刷した写真は自然光で見ても変わらないです